

遺リ又小田原役帳ニ、今ノ橘樹郡岩間青木ノ地名ヲ載セ、共ニ傍ニ久良岐郡ト記スル類ニ據レ、後世境界變革シテ、郡域ノ狹リシ事知ベシ、此郡鎌倉將軍ノ時ハ、將軍ノ領地ナルベシ、後管領ノ比ハ、上杉氏ナドノ領地ナリシニヤ、小田原北條氏割據ノ頃ハ、旗下ノ人々分チ領セシ事、役帳ニ載ス、御入國ノ後モ、旗下ノ知行、及御料所交レリ、

〔日本書紀安八〕元年閏十二月、武藏國造笠原直使主中謹爲國家奉置横淳略 倉樛四處屯倉

〔書紀集解安八〕倉樛疑久良郡

〔續日本紀二九〕神護景雲二年六月癸巳、武藏國獻白雉中 卽下群卿議之、奏云中 國號武藏既

呈戡武崇文之祥、郡稱久良。是明寶曆延長之表略 下

〔吾妻鏡十六〕建久十年元正治二月六日戊辰、羽林殿下、去月廿日、轉左中將給、同廿六日宣下云、續前

征夷將軍源朝臣遺跡、宜令彼家人郎從等、如舊奉行諸國守護者、彼狀到著之間、今日有吉書始略 中

善信草吉書、武藏國海月郡事云云、仲業加清書、廣元朝臣持參之、羽林於寢殿披覽之給、

〔寶生寺文書〕禁制

武州久良木郡平子太於石川談義所當手軍勢濫妨狼籍事、

右有違犯之輩者、可被處罪之狀如件、

文明十年二月 日 沙彌

〔武藏演路三〕綴喜郡東橘樹郡ニ界、西北多磨郡ニ界、南相州限ル、

〔武藏名所考一〕都筑郡

按ずるに、都筑郡東北は橘樹郡に接し、西は多摩郡に接し、東南久良岐郡に接し、南は相模國高座郡に接する事わづかに數町がほど也、今存する郷名は、百八榎下、麻生三所、庄名は、師岡、小机、根古屋三所、領名は、神奈川一所のみ、七十七村をすぶ、

都筑郡